

講座 事情だすけ 依存症への理解と支援

現代の難渋の一つに依存症があります。アルコールや薬物への依存、ギャンブルや買い物、ネットやゲーム、スマホへの依存など多様化し、本人に自覚がないまま陥っている人も多く、わが国の依存症者の総数は3,000万人にのぼるとさえ言われています。

この依存症は“意思が弱い”からではなく“意思が破壊される病気”です。ですから、いったん依存症に陥ると、説教も懇願も取り引きも、誓約書を書かせることもなんの意味もありません。そして問題は本人だけに留まらず、ばく大な借金などで家族や周りの人を巻き込み、離婚、家庭崩壊といった事態も後を絶ちません。

おたすけに際しても、どう接したらいいのかわからず悩む人は多く、よかれと思って対応したことが、回復を妨げ立ち直りの邪魔をしているケースも少なくありません。

今回の講座では、依存症問題の第一人者として活躍している田中講師から依存症の基礎知識と対応の仕方を、鹿児島県大島支庁の保健師から奄美における実情と利用できる社会資源を、さらに依存症のおたすけに勤しむ現職教会長から貴重な体験を聞かせていただき、依存症のおたすけに向ける力を身に付けていただきたいと思います。

◎7月1日(日) 09:30～16:30 ◎奄美市 AiAi ひろば (あいあいひろば)

◎対象：依存症のおたすけを志す人、関心がある人、困っている人、

◎受講無料。ただし昼食代・資料代実費1,000円を添えてお申し込みください。

講師紹介文 (登壇順)

たなか のりこ 田中 紀子 氏	公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 代表。夫と共にギャンブル依存症から立ち直った経験を活かし、多くの依存症者を助けたいと、精力的に全国を飛び回っている。最近では、いわゆるカジノ法案を巡ってTVや新聞等に数多く取り上げられている。著書「三代目のギャン妻の物語」「ギャンブル依存症」など。
よし かわ あすか 吉川 飛鳥 氏	名瀬保健所保健師(地域保健福祉課地域支援係)。島で依存症になったら、先ずどこに相談したらいいか、医療機関、福祉の制度はどうか、自助グループの動向…は。奄美市および周辺地域における現状と利用できる制度や機関などを教えていただく。
すずき けんたろう 鈴木 顕太郎 氏	ひがしはまな 東濱名分教会長・ひのきしんスクール運営委員・「依存症たすけ合いの会」代表。地元の静岡では保護司・教誨師等も務めている。田中紀子氏(「ギャンブル依存症問題を考える会」代表)らと共に、自助グループの立ち上げや講座の開催など、教内における依存症の啓発、おたすけ活動の推進に奔走している。

天理教鹿児島教区大島支部

おたすけのための
ひのきしんスクール in 奄美 受講申込

フリガナ
お名前

(歳：男・女) 電話

所属教会(もしくは紹介者名)

昼食代・資料代1,000円を添えて、大島支部会計 池畑保信へお申し込みください。